

緊急開催

ここがダメだよ京都大学

——京大から「大学」の今を考える

登壇者： 駒込武 + 細見和之 + 松本卓也 + 学部生・院生

日時：11月22日（金）12時～15時

北部構内 農学部総合館（1階）W100

ランチ持ち込み可・参加無料

（どなたでもご参加いただけます）

「ここがダメだよ京都大学」趣旨説明

11月祭と同時開催される北部祭典にて、「ここがダメだよ京都大学——京大から『大学』の今を考える」というシンポジウムを行います。このシンポの趣旨は「いま京大で起こっている色々な問題について、語り合う場をつくる」ことです。シンポには教員3人と学生・院生が2名登壇しますが、それを触媒として職員さんや市民の方々も含めたさまざまな議論のきっかけを作りたい、というのが私たちの願いです。

タテカン、吉田寮、NF禁酒、無期停学処分などの最近の問題については、周知の通り山極・川添体制の問題があり、さらにはその体制に大きく影響を与える官邸からの圧力もあるようです。さらに言えば、これらの問題は新自由主義やグローバリズムという世界の趨勢が「大学」を変質化させつつある徴候であるとも言えるでしょう。ゆえに、それらの問題の他にも授業料免除枠縮小、単位の実質化、キャップ制など、これまでの傾向が引き続き問題として現れてきているものを取り上げる予定です。さらには、人骨問題、731部隊、キャンパスの性差別なども現在の京都大学を考えるにあたっては欠かすことのできないテーマです。

もちろん、このシンポは、いわゆる「当局」だけを批判していれば良いという考えをもっているわけありません。私たち教員も、当局を批判しつつ、ある面では批判されることもあるはずですが、いずれにしても、「最近の京大、ちょっと（かなり）おかしくない？」と感じ始めている学生（私たちの観測では、増えてきているような気がします）や教員が対話し、まずは一緒に考える場をつくること自体に意味があるのではないかと考えています。

11月22日（金）の12時、北部構内にぜひお越し下さい。